



地上と大空を結ぶ航空公園

ふくしまスカイアグリ＝りんご祭り＝「エアロ・スピリッツ」

【開催趣旨】

地域農業の生産性の向上を目指し、ふくしまスカイパークの多面的な機能と特性を活用したイベントを皮切りに継続的なメディアを活用したPRを行い果実や農畜製品のブランド化を図る。また、地域観光情報等の発信をおこなうことを趣旨といたし掲題の事業を実施した。また、サブタイトルの「エアロ・スピリッツ」は、航空スポーツの真髄との意味を持ち、今後、航空スポーツによるまちづくりにつないでいくためのリハーサルと位置づけし取組む。

主催：NPO法人 ふくしま飛行協会 共催：福島市
共同企画：福島民報社
開催場所：ふくしまスカイパーク
開催日時：平成20年10月18日及び19日
入場者数：18日 5500人 19日 7000人 合計 12500人

【内容】

- ① 地元りんご生産者により直売 持ち込み数量 完売
福島市くだものマップ(福島市観光農業協会制作)配布
- ② 農産・畜産・酪農生産品販売 目標を達成
- ③ 航空スポーツ関連 世界チャンピオンを招いたエアショー 及び
航空スポーツ(スカイダイビング・RC模型飛行機・グライダー 紙飛行機教室 等)
- ④ 県警及び県防災ヘリコプターによる救難救助訓練展示(デモ)
- ⑤ 遊具的シンボル・モニュメント =昇竜=
(彫刻家:保住氏と市民のコラボレーションによる継続的彫刻2年目の実施)
NPO法人シャロームによる事業とコラボレーション



地上と大空を結ぶ航空公園

ふくしまスカイアグリ＝りんご祭り＝「エアロ・スピリッツ」

【開会式及び会場の全景】



大勢の観客の皆様はイベント開催を待っている



主催者NPO法人ふくしま飛行協会理事長齋藤喜章氏の挨拶及び共催者の福島市農業振興課長佐藤氏の挨拶でりんご祭りがスタート。



行事の運営に参加した福島大学清水ゼミのメンバー。重要なスタッフとして行事を支える役割を担った。

【地元生産者によるりんご等農産品の販売】



好評を博した地元生産者によるりんごや農産品の直売コーナー、販売予定数を大幅に超えてうれしい悲鳴、追加搬入などで大忙しの2日間だったようだ。



地上と大空を結ぶ航空公園

ふくしまスカイアグリ＝りんご祭り＝「エアロ・スピリッツ」

【農産・畜産・酪農生産品等の販売】

地元食材を活用した、えごま豚ステーキ地域乳酸品・アイスクリームはじめ、焼き鳥や各地の上手いもの、障害を持つ仲間が作ったパンやお菓子など連日賑わいを見せた美味しいものブース。



【航空スポーツ関連行事】



左) スカイパークに初登場オープニング・フライトは華麗な複葉機ピッツ。美しい機体でオープニングを飾る。

左) オープニングを飾ったスカイダイビング、見事着地予定の風船サークルに着陸をきめた。



地上と大空を結ぶ航空公園

ふくしまスカイアグリ＝りんご祭り＝「エアロ・スピリッツ」

【航空スポーツ関連行事】



モーターグライダーによるデモ飛行、グライダー。独特の風切音だけの静寂なフライトも観戦者を魅了する。

右) RCスケール機(大型ラジコン機)による、実機さながらのフライト。
見る角度によっては実機以上の迫力がある場合もある。



三機編隊のエアロバティックス(Yaku-50 Su26Juk a)、世界の超一級アクロバット機の豪華なエアロバティックス。ふくしまスカイパークならではの光景である。

世界チャンピオン(ユルギス・カイリス)、アジアチャンピオン室屋義秀、ニュージーランド(ロバート・フライ)の豪華な饗宴が繰り広げられた。

観戦者も世界一級のアクロバットを充分堪能したことだろう。



観戦者も操縦者も楽しい、スカイパーク名物軽飛行機風船割り大会。



地上と大空を結ぶ航空公園

ふくしまスカイアグリ＝りんご祭り＝「エアロ・スピリッツ」

【航空スポーツ関連行事】



エアロバティックス界の帝王ユルギス・カイリス詰めかけたファンに握手で応える。
このようなフレンドリーなユルギスの行動も大きな魅力の一つ。



【ヘリコプターによる救難救助訓練展示(デモ)】



県民の生命財産を命がけでレスキューをする福島県消防防災ヘリコプター(左)、今、まさに救助に向かう為にリペリング装置を操作し、地上に降下する。
無事、遭難者(被害者)を、ピックアップし県警航空ヘリに迎え入れるところ。このようなたゆむことのない訓練で県民の救助と防災が実施されている。(右)

昨年に引き続き、市民や障害のある子どもたちと彫刻家保住将文氏が制作に取り組んだモニュメント「昇竜」。
当該活動はNPO法人シャロームとのコラボレーション事業。





地上と大空を結ぶ航空公園

ふくしまスカイアグリ＝りんご祭り＝「エアロ・スピリッツ」

【終わりに】

農業の振興を目指しスカイパークの多面的機能を活用した活動の中で、エアロバティックス・世界チャンピオン、ユリギス・カイリス氏を迎え実施した「エアロ・スピリッツ」は、名の示すようにスカイスポーツの真髄を披露するスカイアグリ行事となった。農道空港の多面的活用モデルとして、又、スカイスポーツ界のいっそうの発展と、スカイスポーツによる地域づくり(地域農業振興:シャワー的経済効果)の大きな契機と可能性を示すことができたと言えよう。

今後とも、スカイパーク多面的利活用推進のため不断の努力をいたして参りたい。